

2026. 2

- 目 的
- ・ 市民公益活動団体のための活動紹介と活動資金づくりの場とする。
 - ・ より多くの市民に市民公益活動への関心を深めてもらう機会を提供し、市民活動を始めるきっかけ作りの場とする。
 - ・ 市民活動サポートセンター利用団体をはじめとする参加団体が協働によりフェアを作り上げ、より活発に交流できる場とする。
 - ・ 社会貢献活動を行う企業の取り組みを紹介し、市民公益活動団体と企業など地域協働のきっかけづくりの場を提供する。
 - ・ 被災地の復興支援を継続的に行う場とする。

開催日時 2026年 2月 14日(土)～15日(日)の2日間 10:00～15:00

場 所 横須賀市立市民活動サポートセンター及びYouTube(のたろんチャンネル)
リドレ横須賀(PRイベント)

主 催 のたろんフェア2026実行委員会、横須賀市立市民活動サポートセンター

- 運営体制
- 1) 実行委員会を構成し、企画運営を行う。
実行委員の役割として…実行委員長、副実行委員長、記録、広報、装飾など
 - 2) 事務局 市民活動サポートセンター 担当：早坂、茂澤

- 参 加 者
- 1) 参加団体数 101団体(昨年度95団体)
 - 2) 2日間(14日・15日)の一般来場者数 2,416人(昨年度2日間で2,215人)
 - 3) PRイベント集客数 約120人
 - 4) YouTube「のたろんチャンネル」 6団体 364視聴(2月15日時点)
 - 5) 実行委員 13人、運営ボランティア 10人

- 内 容
- 1) フリーマーケット、地域作業所販売、模擬店
(館内 14日12団体・15日11団体、館外 2日間参加6団体)
例年より外ブースが少なかった。館内は1日目に申し込みが集まってしまったが5団体ほどに融通してもらい2日間とも、同じような参加団体数となった。
売上総額 589,810円 純利益 394,056円

- 2) 活動紹介展示
(展示 14日15団体・15日16団体、救護所/展示2日間3団体、ミニ展示 55団体)
活動紹介展示について、パネルの利用を背面に壁や柱のあるところのみとし、館内の景観に配慮した。パネルを希望する団体が多かったので抽選となったが、落選しパネル無しとなった団体も工夫を凝らした展示をおこなっていた。
売上総額 89,030円 純利益 39,900円

- 3) ミニ展示コンクール
展示の中でもミニ展示は1月11日～ポスターの提出を受付け、預かり次第、汐入駅側窓に掲出。2月28日まで展示する。フェア当日の2月14日と15日はスタンプラリーの景品交換所にてミニ展示ポスターの投票シールを渡し、気に入ったポスターにシールを貼ってもらった。投票数によって各賞を決定。参加団体報告会で報告。

- 4) ステージコーナー（映像による活動紹介や体験ができるコーナー）
（2日間で19団体（内3団体合同でプログラム発表の団体あり）
映像を使って 団体の活動を紹介したり演奏発表やダンスなど様々なステージイベントを行った。音楽やダンスのパフォーマンスが増え盛り上がりを感じた。
実行委員会プログラムの「復興応援団」企画も行った。
- 5) 「のたろんチャンネル」 ※事前収録した動画をYouTubeにて配信（6団体）
団体から預かった動画を事務局でYouTubeに投稿、配信。
- 6) 募金活動（2日間計9団体）
いくつかのルールを決め募金活動を行った。
- 7) 署名活動（3団体）
いくつかのルールを決め署名活動を行った。
- 8) PR イベント
2月7日（土）①11:30～ リドレ横須賀 パフォーマンス（3団体）
協力：リドレ横須賀・よこすかアーティストドットコム
同日 ②14:00～ のたろんクリーン大作戦 共催：グリーンバード横須賀
①リドレ横須賀で参加団体によるダンスパフォーマンスやサイエンスショー
降雪あり風ありの中、リドレ横須賀協力のもとテントを増やすなど対応してもらい、すべての団体のパフォーマンスを行うことができた。
②リドレ横須賀をスタートし、横須賀市立市民活動サポートセンターまでクリーン活動サポセンへボランティア申込み2名、グリーンバード横須賀のメンバー及び東京から来場参加してくれたグリーンバードのボランティアと実行委員含め、総勢20名でクリーン活動を行った。ビブスやゴミ袋にポスターを貼り、のぼりを立てて「のたろんフェア」のPRにつとめた。降雪の中だったが、最後まで行うことができた。
- 9) 会場スタンプラリー
会場内で各出店団体の考えたクイズに答え、シールを集める。シールは活動紹介ブースで2枚、館外ブースで2枚、館内フリマで1枚、産業交流プラザで1枚の4色計6枚のシールをプログラムの該当欄に貼る。ゴールのスタンプ景品交換所にて景品と交換。
3F 産業交流プラザでの産プラまつりと共催。
- 10) 会場装飾
館外から入館できる入口を3カ所とし、館外の飲食ブース近くからも入館できるよう、汐入駅側の入口（フリマブース側）も出入り自由とした。
ドブ板通り側の自動ドアを入ったところに風船の門を作り、PRした。
「のたろん」の絵を津久井小学校や学童保育の児童に依頼し描いてもらったものをドブ板通り側ガラス面に掲出し会場に彩を添えてもらった。絵を見に来てくれた家族も数名いた。
- 11) 市民活動のための不要品募集（希望団体6団体）
サポートセンターでの不要品受付分を希望団体に分配した。広報よこすかやポスター、サポートセンター館内の不要品見本などを見て、たくさんの寄付があった。

- 12) SDGs 企画「海の豊かさを守ろう～貝殻クラフトで学ぶ SDGs ワークショップ～」
貝殻ストラップのワークショップで SDGs をアピールした。用意した貝殻がはけるほど好評だった。(約 60 個)
- 13) 企業の社会貢献活動の紹介 (2 企業 井出新聞店、マリンワークジャパン)
ミニ展示により、活動内容を周知した。
- 14) のたろん復興応援団
実行委員企画として復興応援と平時より準備について考える取り組みを行った。
①市内避難世帯招待：被災地から市内に避難してきている家族へ「のたろんフェア」のご案内と招待状の発送。館内で使えるクーポン券の進呈。
※3 世帯 5 名来場。クーポン 30 枚・喫茶券・写真撮影券を使用
②講演会：ステージコーナーで「ご存じですか？フェイズフリー」
被災地支援から一歩進んで、平時からの備えの大事さを学ぶ講演を行った。
- 15) 市民活動団体交流会 約 40 名が参加予定。

広報

- 1) ポスター・チラシの作成・配布
のたろんフェア 2026 ポスターデザインを一般公募した。10 点 (昨年度 2 点)
10 作品の応募があり、採用作品を実行委員会で決定し今年のポスターに採用した。
デザインについては作者の許可を得て、看板や館内での案内などにも使用した。
ポスターについては多くの方より賛辞をいただいた。
デザインが採用されたご本人も PR イベントや運営ボランティアにも参加いただき、今まで「のたろんフェア」を知らなかった方への周知にもつながった。
ポスターは横須賀市掲示板、各公共施設、学校、銀行等に掲示した。
また、フェア当日の 2 日間で産業交流プラザに応募作品全てを展示した。
- 2) プレイベント
2 月 7 日 (土) 11:30～13:30 リドレ横須賀 参加団体 3 団体
協力 リドレ横須賀
アーティストドットコム (音源及び会場設営)
2 月 7 日 (土) 14:00～15:00 リドレ横須賀～市民活動サポートセンター クリーン活動
共催 グリーンバード横須賀
- 3) PR 展示
1 月 31 日 (土) ～2 月 13 日 (金) 場所 市民活動サポートセンター
1 月 26 日 (月) ～1 月 30 日 (金) 場所 横須賀市役所
- 4) 広報記事掲載・放送
広報よこすか、情報誌のたろん、のたろん通信、神奈川新聞、まなびかんニュース、FM ブルー湘南
- 5) PR 番組放送 FM ブルー湘南にて生放送と録画放送
1 月 28 日 (水) 3 団体
2 月 4 日 (水) 3 団体 (1 月 31 日 (土) 収録)

【感想・意見】 ○良かったところ △改善すべきところ ◆提案

- 献品について、文具好調、雑貨類も良かったです。（掘り出し物としてバカラグラスが飛ぶように売れました。（食器類は△）
- △中高生が少ない印象でした。
- △活動紹介展示ゾーンとステージコーナーが近すぎるため、来場者への説明に大きな声となってしまう。
- 参加者の年齢層が高くブースとの親和性が高く大変有意義に大変有意義に出展することができました。健康意識が低い人もいてきっかけづくりとして良い機会となりました。
- △工作できるようなスペースがあると良かった、椅子もあと2つほしい
- △午後からの人手が減ってしまった
- △話を聞けるスペースがほしい、テーブルの前に椅子をおきたい。
- 今回は会場を広々と使っており、来場者の方にやさしいレイアウトとなっていた。
- △ブースの場所が出入口近くで、例年寒いのですが、今年は一週間遅くなって寒くなかった。（ありがたかったです）ただ、暖かくなったせいなのか、例年より人出が少なかったのかも。（2/14(土)）
- 例年より来場者が多く、たくさん売れて良かったです。
- 休憩コーナーで休めて良かったです。
- △いつもより物量が少ない割に売れて良かった。レトロな食器5客セットなどは売れなかった。
- 毎年の出会いがうれしい。
- △外の展示は高いと上の方、子どもがシール貼るのに手が届かない
- 市民の寄付有難う御座居ます。
- △昨年に比べ、親子連れが少なかった。
- 見通しが良かった。広く感じました。
- △来所の方々の年齢層が高く、フリーマーケット品の購入にはつながらなかった。
- 今年は館内への流れが外飲食ブース・ドブ板側入口から多く子供連れの方がバザーへ流れていた。
- △テーブルの前にでて説明しているのがドブ板通り側からの入館者の道をふさいでいた。
- シール集めは3階まで遠かったけど電車のスペースなどがあり楽しかった。
- △のたろんフェア自体のPRがもっとできたら、サポセン利用者以外の来場者もさらに増えるのではと思いました!!
- グッズが売れて良かった。人とのつながりが大切だと感じた。
- ◆展示だけでは止まってもらえないので、いかに呼び込みするかアイデアが大切だと思う。
- △レターケースの前は、少しあけてほしい!!レターケースから、物がとれない!!
- △しかたない事ですが、3Fまで行けない方の「シールラリー」を変わりに行きました。足が悪く、この建物のフロアをよく知らない人には大変そうですね。
- △今までこの様な会を知らず、一般の横須賀市民には今だゆきとどいていないのではと思いますので更に大いに発展する余地があると思いますので、頑張ってください。
- △入口のスタンプラリーの台紙に気づかない人が多く、手わたして説明してヘルプした。
- △展示出店のところには展示板もほしかったです。出展の作品数を制限して、何とか実施できました。

- △○初めての参加で緊張しましたが、1日楽しく過ごすことができました。思ったよりも多くの方が立ち寄ってくださいましたが、概ね参加団体の方だったように思うので、一般来場者は少なかったのかなと思いました。
- パネルが無く心配でしたが、いつもより、すっきりとしてみはらしよくてよかったと思います。
- △ハンガーポールを使えるようにしてほしい。
- △ダンスや発表の場所が少し狭いようだったので、もう少しやりやすくしてあげると発表も見やすくなるかと思いました。
- 日々制作している作品をみなさまにご覧いただき手に取っていただけたことと、利用者の活動のモチベーションになったようです。
- △子どもの来場が少ないと思った
- △通路が狭い部分があり、人とぶつかりそうになる場面があった。
- △館外ブースにて、2日目の後半、風が強くなりゴミ等が道路にとんでいってしまった。
- △フリマスペースの通路が少しせまく、車イスと人がすれちがうときにぶつかりそうになっていた。
- △それぞれ出展者の団体名は本部でつくってわかりやすくしてほしい。
- △活動紹介時間を長くしてほしい
- △駐車場1台分を荷物用として確保してほしい。
- △一般市民にもっと知ってほしい。横須賀市のLINEにアップしたりできれば良いと思う。
- △横須賀市立市民活動サポートセンターのスタンプラリーのブースやミニ展示会について場所がどこにあるのか良くわからない方が多いので、もう少しわかりやすくしてほしいです。
- △5番の時間があと5分欲しかった（25分欲しかった） 外と内が分断していて間の空間を工夫したら良いなと思った。
- △ステージ脇だったので音が大きいとお客様（お年寄り）とのコミュニケーションが難しい場面が気になった。
- 楽しいムード作りがよかった。
- ワークショップ（無料）は人が集まる
- △20年以上も続いたイベントで内輪感が否めない。新しい客や参加団体獲得が必須。
- ◆ミニ展示とフリマ間のスペース利用を考えたらどうでしょうか？
- ◆キッズコーナーを設けて家族参加ができるコーナーを。
- △ドブ板通り側の看板、マスコットの飾りがありましたがお客さんが写り込んでしまうためかフォトブースとしての利用はほとんどなかった。
- △開会式の終了が10時ギリギリになっていたため5分くらい早く始めてもよかったと思った。
- ステージでBGMがつなぎにかかっており雰囲気が良かった。
- ◆会場設営・撤収の指示が少しわかりにくかった。配置図に色分けがあったのでテーブルにも同色のシールを貼るなどあるとわかりやすいかも。
- ◆一般来場者用のWEBアンケートなど用意しておくよかったように思いました。
- △10時前に商品を手にしている人がいた。
- 音楽があると踊れたり、手拍子したり楽しくて人が集まる。
- ◆着ぐるみのダンスステージ
- ◆開始前の時間帯は出入口は一カ所として来場者は10時より前は入口前で待っていただくようにする。



